

政策評価結果の政策への反映状況

【事後評価】

施策名	2-1 オゾン層の保護・回復
評価方式	実績評価方式
施策の概要	オゾン層の状況の監視を行い、オゾン層破壊物質の生産・消費規制、排出抑制対策を実施し、さらにフロン類の回収・破壊を推進する。
反映状況	<p>政策評価結果を踏まえ、フロン等対策推進調査費(233,184千円)については、フロン類算定漏えい量報告・公表制度等に必要な予算を重点的に要求する一方、フロン類の適正管理推進モデル事業について経費縮減を図り、必要最小限の予算額とした。</p> <p>平成29年度当初予算額: 234,386千円</p>

政策評価結果の政策への反映状況

【事後評価】

施策名	4-4産業廃棄物対策(排出抑制・リサイクル・適正処理等)
評価方式	実績評価方式
施策の概要	<p>○弁護士等暴力団排除の専門家を講師に招き、産廃業者、自治体等に対する講習会を開催、また資料の配布等により、積極的な啓発活動を行う。</p> <p>○石綿含有廃棄物等の処理について、高度な無害化技術を有する事業者を国が認定する。</p>
反映状況	<p>○政策評価結果を踏まえ、産業廃棄物処理業優良化推進事業費において、効率的な予算執行の観点から予算を削減した。</p> <p>○政策評価結果を踏まえ、石綿含有廃棄物無害化処理技術認定事業のうち、人件費について経費縮減を図り、予算を削減した。</p> <p>平成29年度当初予算額 7,453,076千円</p>

政策評価結果の政策への反映状況

【事後評価】

施策名	6-2 環境リスクの管理
評価方式	実績評価方式
施策の概要	化学物質審査規制法に基づく化学物質のリスク評価を進めることで、環境リスクを低減し、人の健康の保護及び生態系の保全を図る。
反映状況	<p>化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律施行経費について、政策評価結果を踏まえ、化審法に基づくスクリーニング評価及びリスク評価を着実に推進しつつ、運用していたデータベースを廃止・統合するなどの見直し・効率化を図ることで、概算要求の縮減(5,037千円)を行った。</p> <p>平成29年度当初予算額 671,446(千円)</p> <p>機構要求 ー</p> <p>定員要求 ー</p>